

ムクロジ

【 区画⑳(156), 区画㉑(166, 168)】

がくめい 学名	<i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.	ぶんるい 分類	ムクロジ科ムクロジ属
ぶんぷ 分布	かんとうちほう おきなわ 関東地方～沖縄	じゆこう 樹高	15m程度の落葉高木

〈 特徴等 〉

なまえ 名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> 漢名「無患子」の音読みが変化して、ムクロジと言われるようになった。 同科のモクゲンジの漢名「木欒木」が誤って使われて、ムクロジと言われるようになった。 		
は 葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
かいかとう 開花等	夏に、枝の先に、多数の淡緑色(うすい緑色)の小さな花を開く。		
けつじつとう 結実等	秋に熟す。成熟すると、黄色または黄褐色(黄色がかかった茶系色)となる。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 果実の皮にはサポニンが含まれ、泡立てて石けんの代用になる。 黒い種子は、正月の羽根つきの球に使われる。 		

〈 写真 〉

		
じゆもく 樹木 (5/12)	じゆひ 樹皮 (4/3)	は 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実 (実) (/)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.783.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p.250.